

(対象期間：2022/2/14～2022/2/18)

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年2月18日)

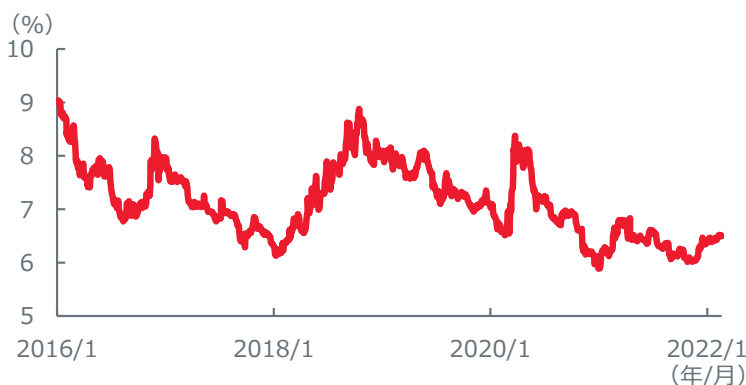


## 【株式市場】

インドネシア株式市場はウクライナ情勢の緊迫化やインフレへの懸念が高まる中で外国人投資家の資金流入を背景に上昇し、史上最高値を更新しました。週初はウクライナ情勢の緊迫化を背景に世界の株式市場が大幅下落となりインドネシア株式市場も弱含みしました。しかし、15日以降は反発し、特にインフラ関連株やパーム油の上昇を好感したプランテーション株などが上昇しました。週末にかけて再びウクライナを巡る地政学リスクが意識される中、ロシアの供給懸念などを背景に貴金属株などが上昇しました。インドネシア株式市場は前週末比で上昇しました。

2022/2/11	2022/2/18	変化率
6,815.61	6,892.82	+1.13%

## 【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年2月18日)



## 【債券市場】

週初はウクライナ情勢の緊迫化にもかかわらず、通貨ルピアが堅調となったことから、インドネシア債券利回りは低下（価格は上昇）しました。15日の国債入札は地政学リスクが意識され外国人投資家からの応札は低調でしたが、国内勢から旺盛な需要が見られ、国債利回りはやや低下しました。その後も米国債利回りが上昇する中でも、株式市場への資金流入を背景としたルピアの堅調により狭い値幅で安定的に推移しました。スリムルヤニ財務相は今年中にインドネシア中央銀行（BI）との負担分担プログラムを終了し来年は財政再建に取り組むと述べました。10年国債利回りは前週末比で低下しました。

2022/2/11	2022/2/18	変化幅
6.522	6.497	-0.025

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年2月18日)



## 【為替市場】

ルピアはウクライナ情勢の緊迫化にもかかわらず、週初はやや上昇しました。その後も株式市場への外国人投資家からの資金流入を背景に堅調となりました。1月の貿易収支が9.3億米ドルの黒字と予想を大幅に上回ったことも好感されました。18日に発表された2021年の経常収支は33億米ドルの黒字と10年ぶりの黒字となりました。一方で、9-12月期の経常収支は14.2億米ドルと、前四半期の49.7億米ドルから縮小しました。黒字幅の縮小を受けてルピアはやや下落しました。ルピアは前週末比対米ドル、対円で小幅に下落しました。

2022/2/11	2022/2/18	変化率
0.8087	0.8040	-0.58%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。